

「僕は、死なない。～神様、降参です～」

令和5年 11月 25日(土) 三川町 いろり火の里「なの花ホール」 13時30分～16時

- 庄内プロジェクトについて
鶴岡市立荘内病院 院長 鈴木 聡 氏
- 講演：「僕は、死なない。～神様降参です～」

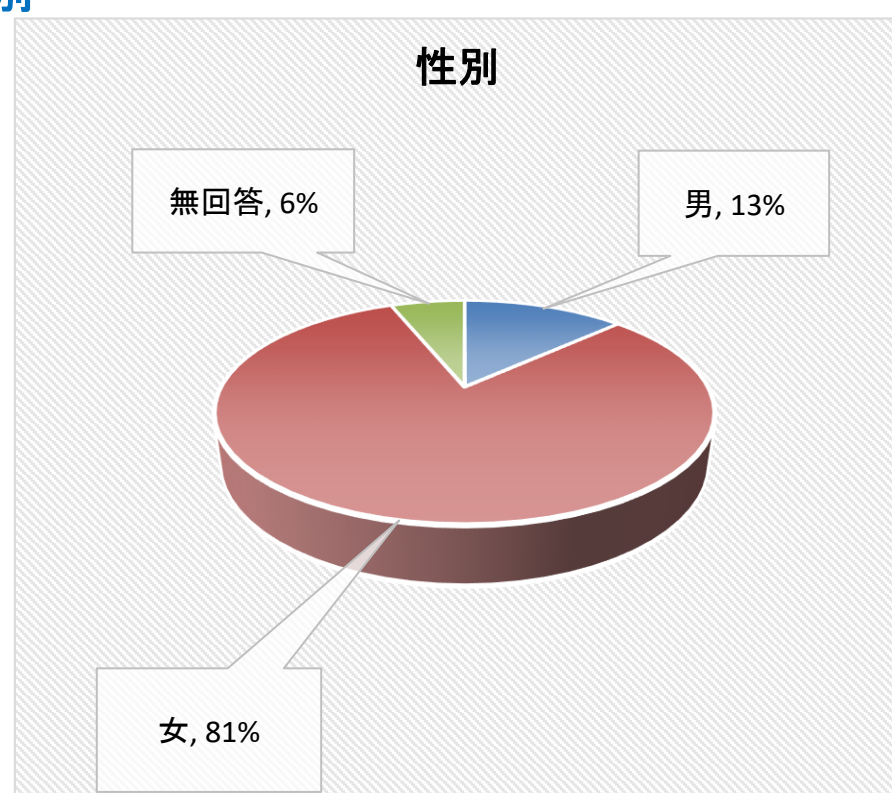
講師 OFFECE LEELA 代表 刀根 健 氏

《参加人数：216名 アンケート協力：185名》

<1. あなた自身について>

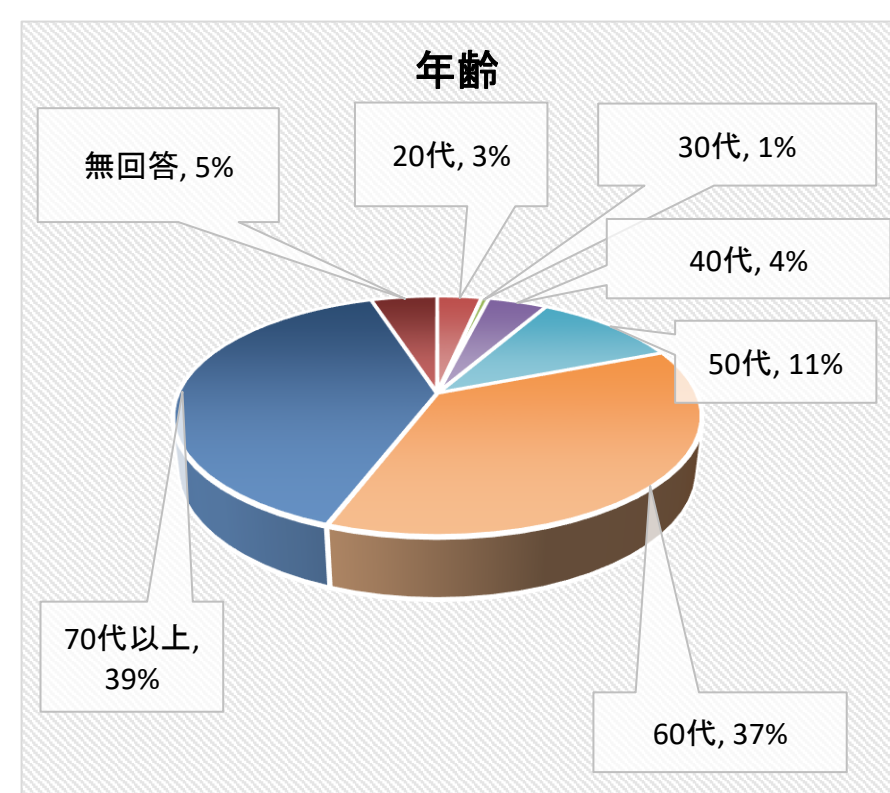
1－(1)性別

男性	24
女性	150
無回答	11
合計	185



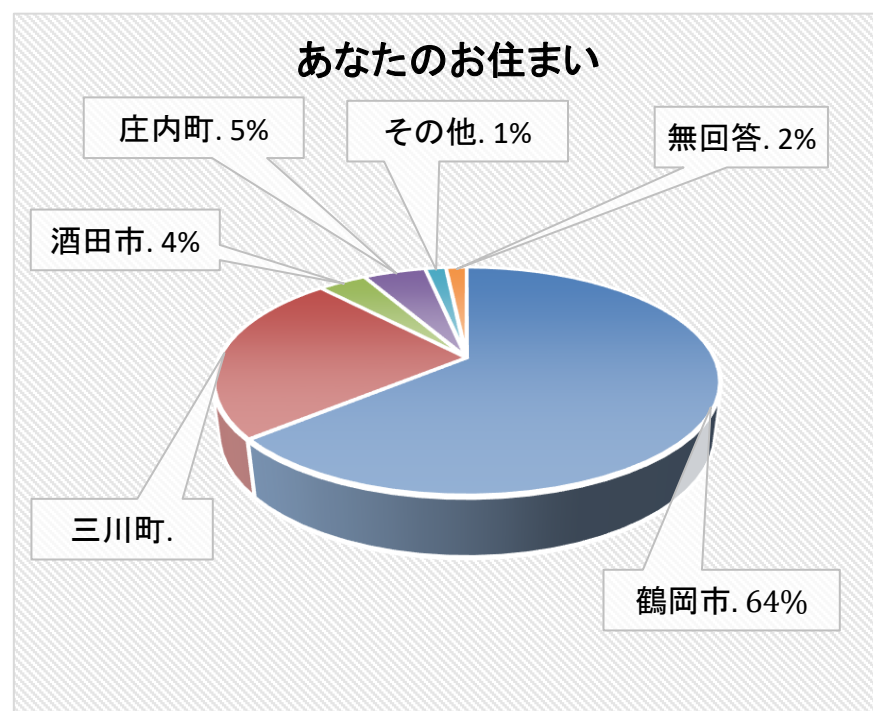
1－(2)年代

20歳未満	0
20代	6
30代	1
40代	8
50代	20
60代	68
70代以上	73
無回答	6
合計	185



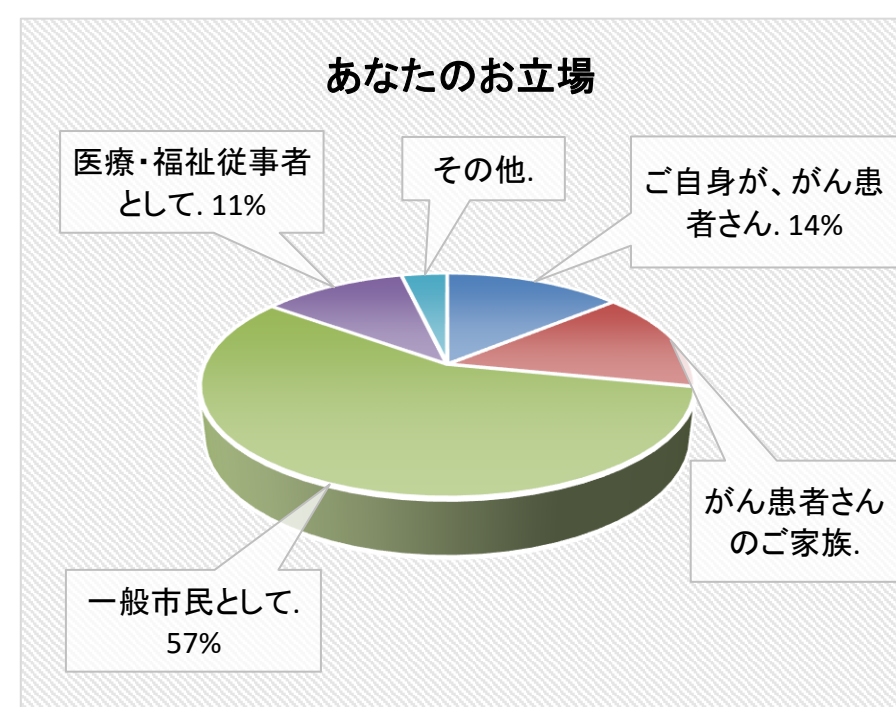
<2. あなたの住まいについて>

鶴岡市	118
三川町	45
酒田市	7
庄内町	9
その他	3
無回答	3
合計	185



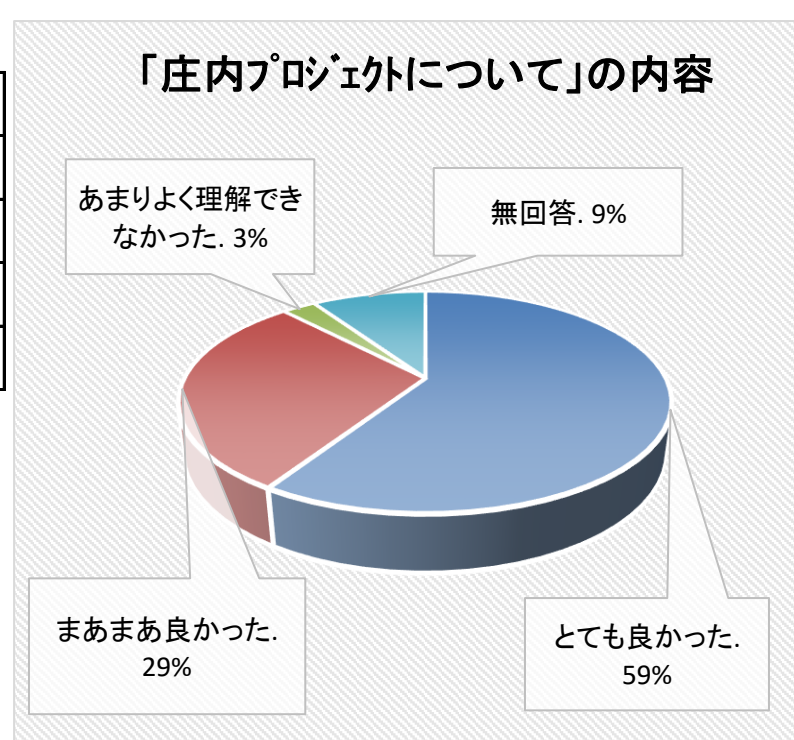
<3. あなたのお立場を教えてください。(複数回答可)>

ご自身ががん患者さん	27
患者さんのご家族	28
一般市民として	111
医療・介護・福祉従事者	22
その他	7
無回答	4



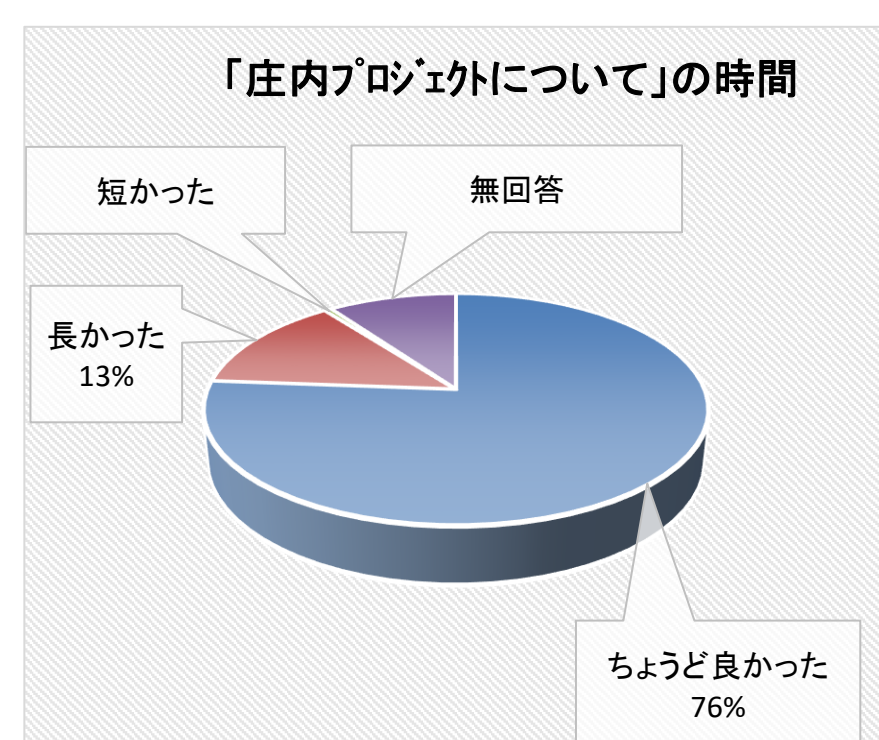
<4. 「庄内プロジェクトについて」はいかがでしたか。>

とても良かった	109
まあまあ良かった	54
あまりよく理解できなかった	5
無回答	17
合計	185



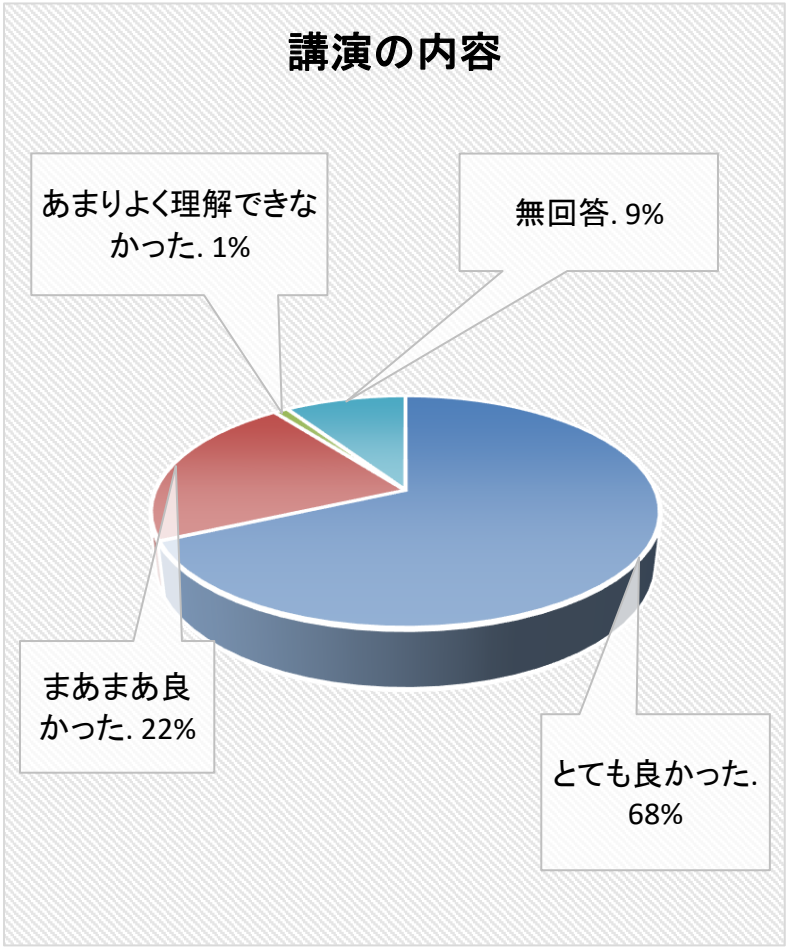
<5. 「庄内プロジェクトについて」の時間の長さは>

ちょうど良かった	141
長かった	25
短かった	1
無回答	18
合計	185



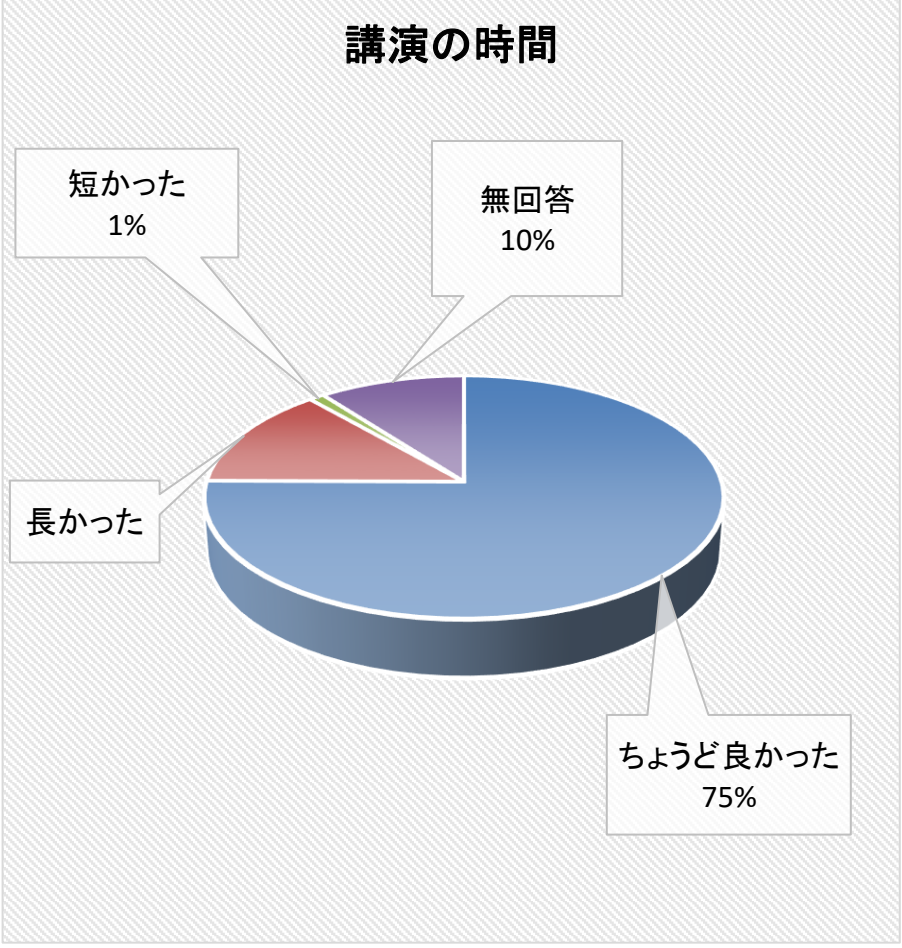
＜6. 講演についてはどうでしたか＞

とても良かった	126
まあまあ良かった	40
あまりよく理解できなかった	2
ほとんど理解でき	0
無回答	17
合計	185



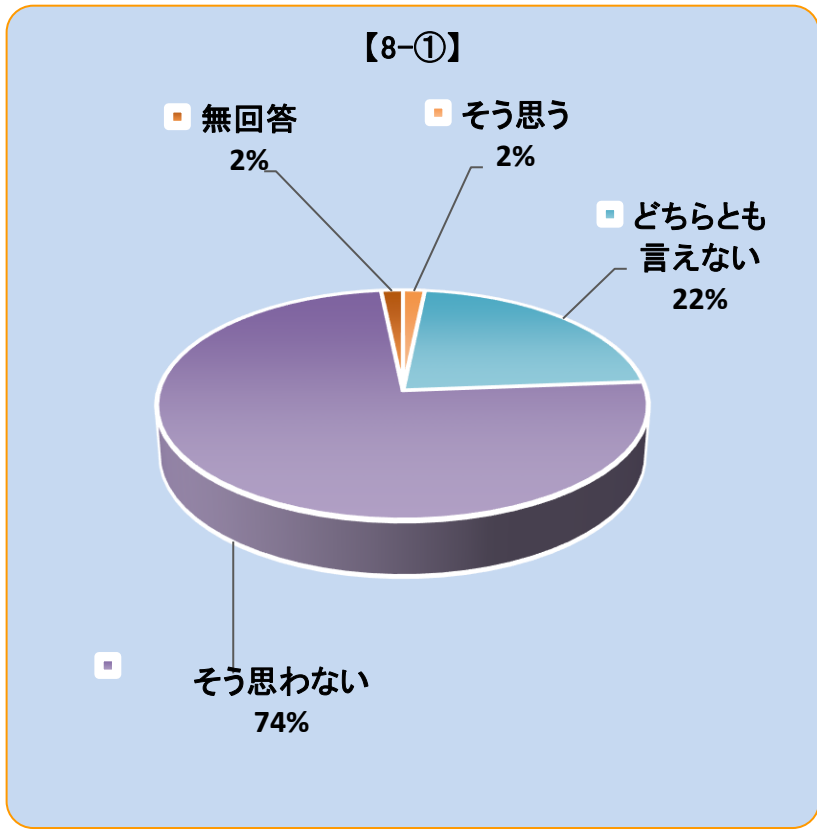
＜7. 講演の時間の長さはどうでしたか＞

ちょうどよかった	139
長かった	25
短かった	2
無回答	19
合計	185

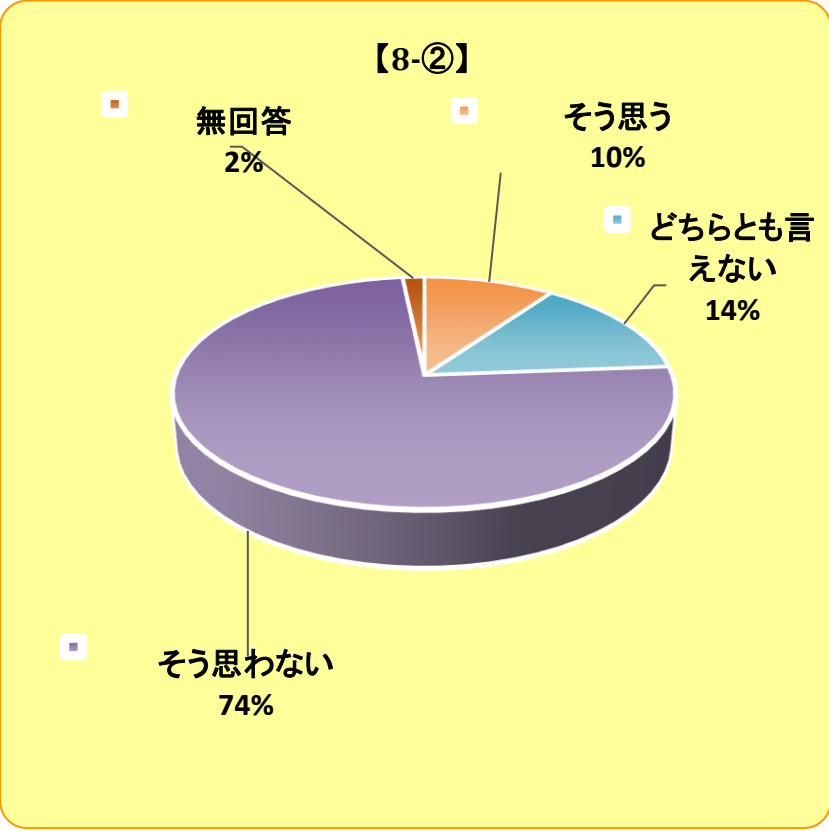


＜8.緩和ケアや在宅医療についてのあなたのイメージについてうかがいます。＞

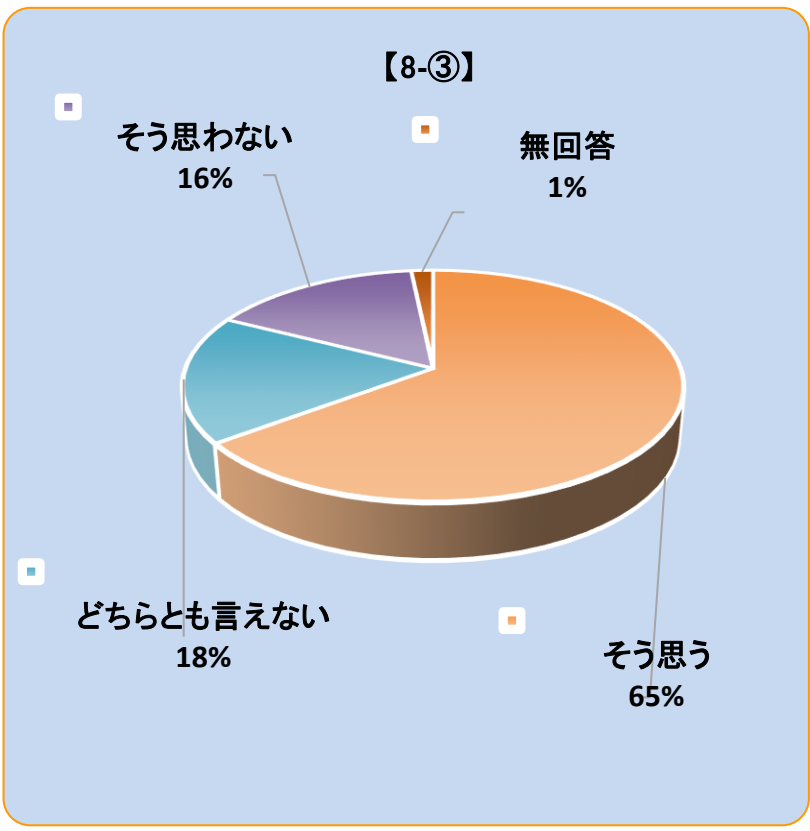
【①がんになっても病名を告知されたくない】



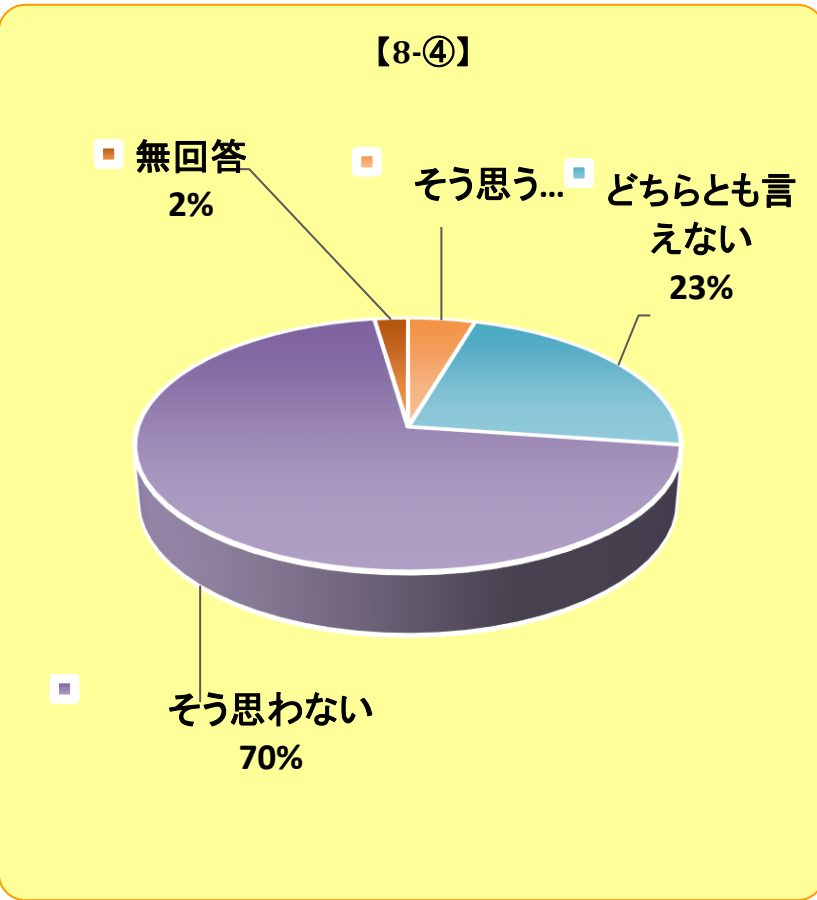
【②緩和ケアとは、末期の患者さんだけが
受ける医療・ケアである】



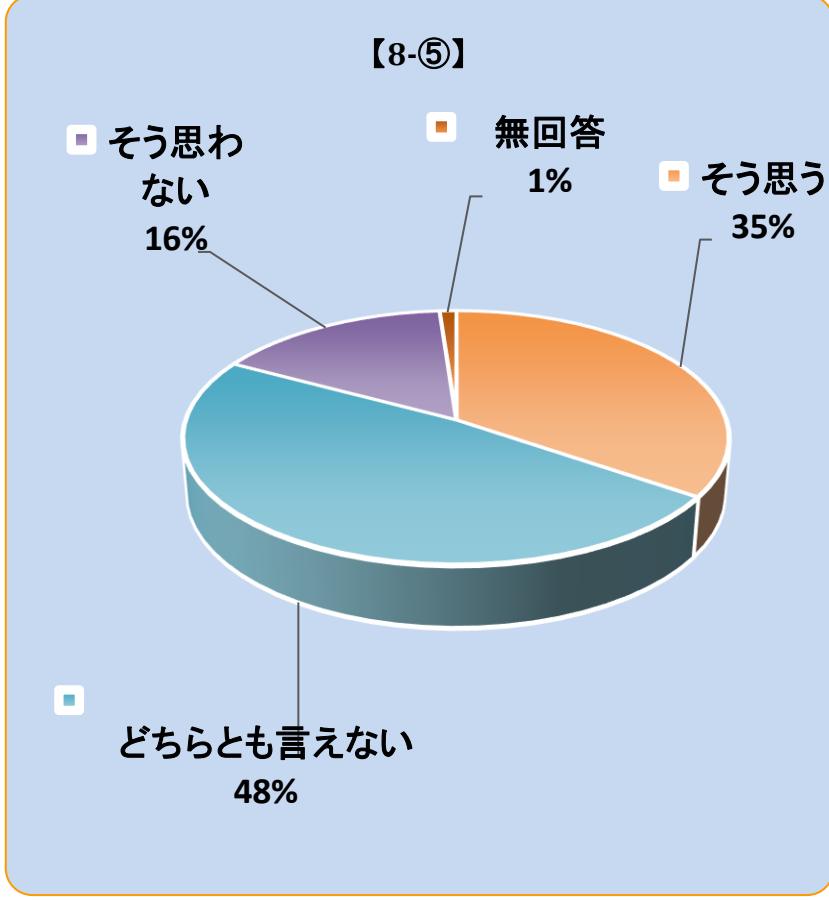
【③緩和ケアとは、化学療法や放射線治療など、
がんに対する治療と一緒に行うものである】



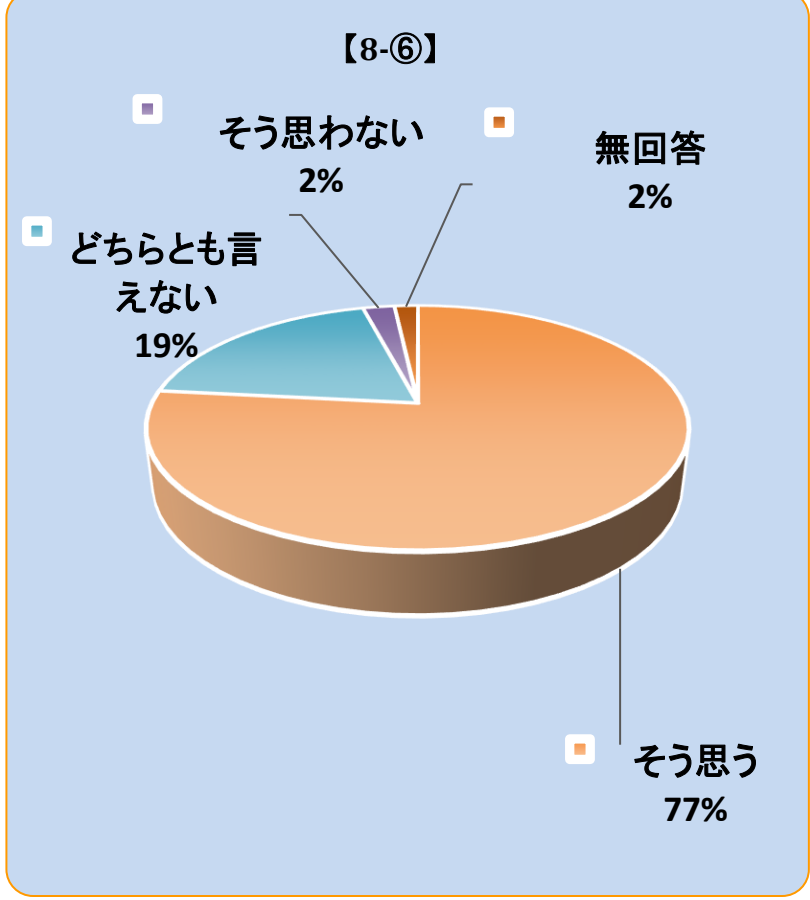
【④医療用麻薬を使用すると中毒になる】



【⑤あなたが、がんになったら、最期は
自宅で過ごしたいと思いますか】



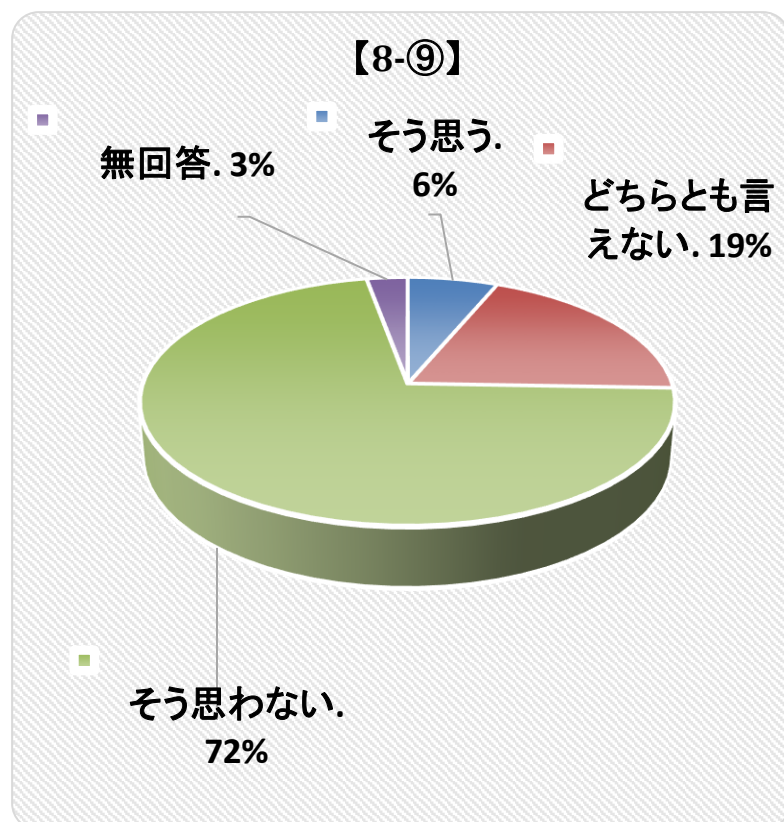
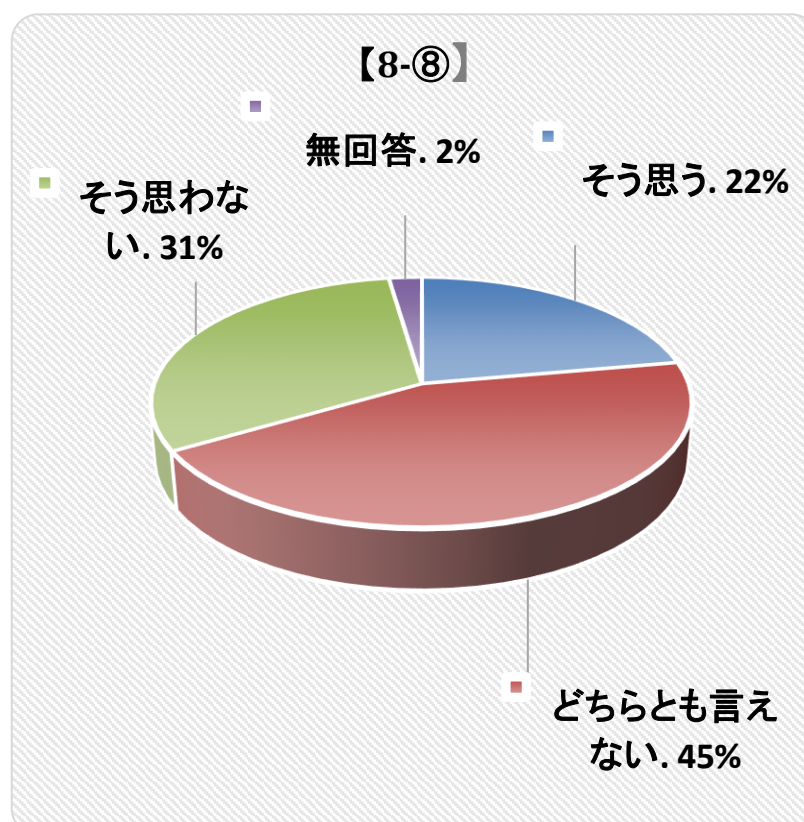
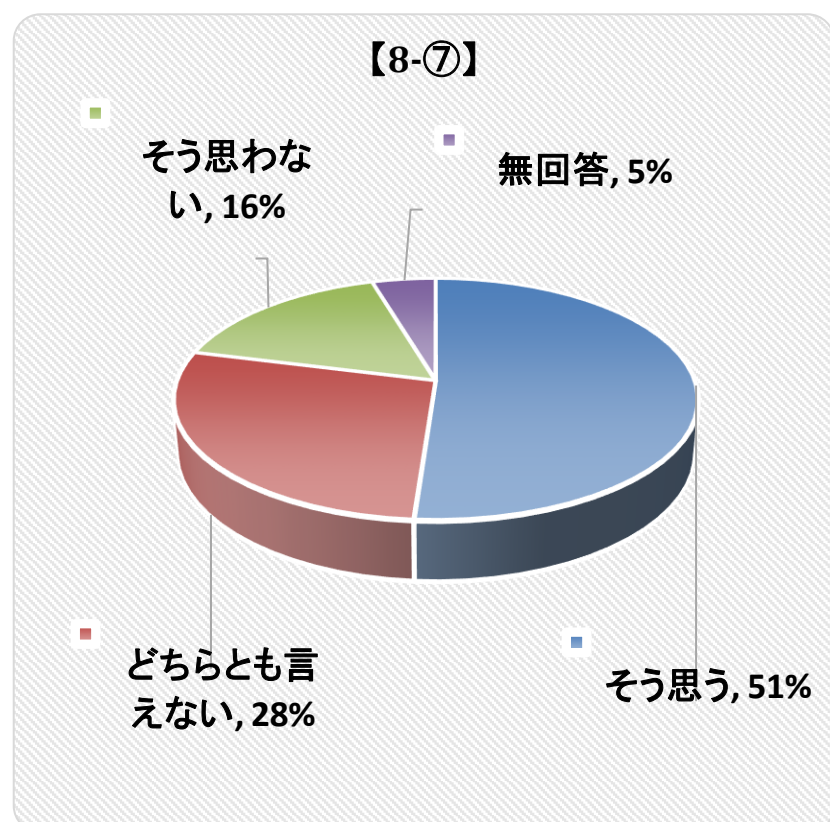
【⑥自宅で療養することは、介護してくれる
家族に負担が大きい】



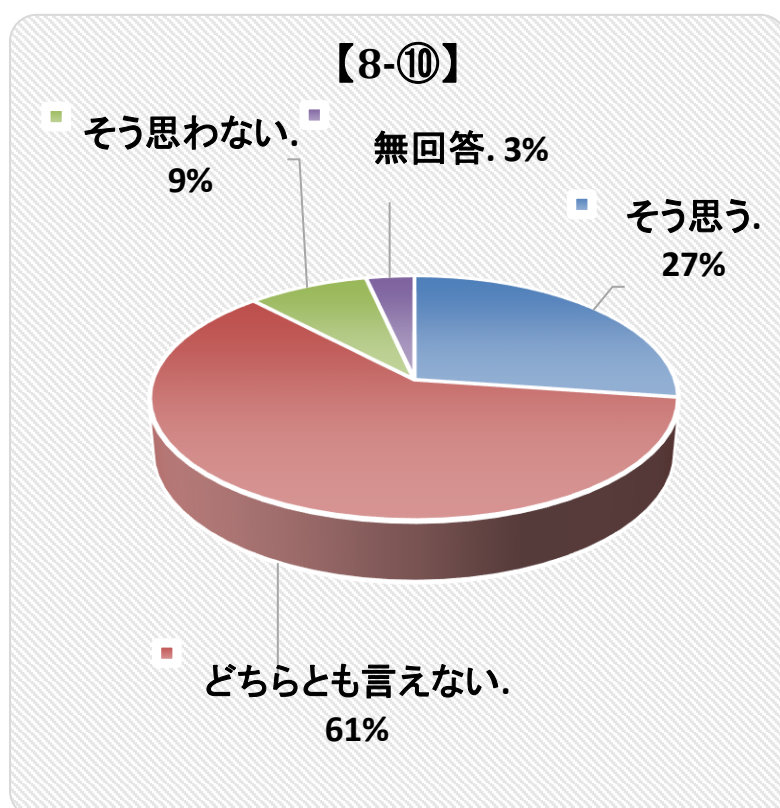
【⑦自宅では、症状が急に悪くなったとの
対応が不安である】

【⑧自宅では、十分に苦痛を和らげる こと
が出来ない】

【⑨自宅で最後を看取ることは家族が患者に
十分な医療を与えていない事になると世間か
ら思われる】



【⑩この地域では、がんになっても安心して
過ごせると思う】



《ご意見・ご要望・ご感想等の自由記述》

- ・食べ物の話しもやってほしい。添加物の良い悪い等
- ・前向き、明るい、意地張り、あきらめが良い方向へ。幼少期のトラウマを自分と同じとうなづいてしまった。
- ・昨日、在宅医療について学び現実として自分のこととして考えるきっかけになっている。医療、福祉関係の方々が一生懸命で困った時には相談できるという安心感を持っている。
- ・元気をいただきました。ありがとうございます。
- ・今回のように体験談等が聞きたいです。
- ・なの花ホールの照明がパチパチして気になりました。
- ・ポジティブに生きることが重要であると認識しました。
- ・素晴らしい講演をありがとうございました。努力、思考、頑張るではなく楽しいことワクワクすることを増やしていこう、感じていこうと思いました。
- ・何回か参加していますが、その度に心に響くことを聞く事ができ参加して良かったと思います。
- ・以前市民公開講座に講師で来ていただいた、杉浦貴之さんの話をまた聞きたいです。
- ・がん治療後自宅での過ごし方や体調面の変化などをもっと知りたいと思います。

- ・家族の付き合い方、気を使った方がいいか普通に対応した方がいいか等よろしくお願いします。
- ・標的薬について、もっと詳しく話を聞きたいと思いました。
- ・刀根先生のお話を聞く事ができて大変有意義な時間でした。非常に心に響くお話しありがとうございました。
- ・日々幸せを感じる。これにつきますね。今日はありがとうございました。
- ・緩和ケア病床を増やしてほしい。がん患者、経験者が自身の体験など話ができる機会があったらいいと思う。
- ・鈴木先生から毎年庄内プロジェクトについてお話を聞けてありがたいです。講演はただの体験談ではなく、そこから私たちが心がけるべき物の見方、考え方にまで広げてお話しいただき良かったです。
- ・内陸には高度医療の施設が多いが庄内地方は十分とは言えない。医者数の絶対数、診療科の不足も問題である。刀根さんの本を読んで感動しました。今後も体験談の講演の企画をしてください。
- ・貴重な体験を聴かせていただきありがとうございました。
- ・素晴らしい講演ありがとうございました。次回も必ず受講したいと思います。
- ・親ががんで入院したが、スタッフは口腔ケアを丁寧にしてくれた。面会もでき様態急変はすぐに連絡してくれて、看取れたことに感謝している。
- ・数年前に義母を自宅で看取りました。がんと知った時は手遅れで本人への告知をせずに亡くなりました。告知した方が良かったのか考えることもあります。医師、看護師、地域のサポートもあり自宅に連れてこれたことは本人にとって良かったと思います。
- ・生きるということを考えさせられました。自分の気持ちに正直に自分らしく生きていけたらいいなと思う。不安神経症を持つ家族の接し方見直してみようと思います。
- ・タイムリー過ぎて、なの花ホールを出た時から心構えができました。地域に関係なく刀根さんのような治療が受けられるのだろうか。がんであることをもっと落ち込むのかと思ったが、今のままで良いと分かった。
- ・刀根さんの思想が自分の経験とリンクし、貴重なお話を聞かせていただき感謝します。共感することが多くとてもためになる時間でした。
- ・講師の「死」に対する解釈がすごく腑に落ちました。楽しく生きることの素晴らしさを今回の講演で改めて考え直しました。とても楽しい話でした。
- ・術後や闘病しながらの職業生活や社会参加を続ける場合に、支援を受ける方法や機関がどの程度発達しているか情報がもっと市民に触れるチャンスを増やしてほしい。受付でいただいたリーフレットは良かったのもっと周知をしてほしい。
- ・刀根さんはがんとは思えないほどすごく元気で生き生きとしてすごい人ですね。今日は良いお話を聞かせていただきありがとうございました。
- ・本当の自分を生きることが一番印象的でした。
- ・とても良いお話しでした。最後まで楽しくお話を聞く事ができました。
- ・庄内プロジェクトについて知らなかったのも、この機会に知る事ができて良かった。高齢者施設で働いているので看取りの方もいらっしゃるのも、緩和ケアはとても大切なことだと思った。
- ・緩和ケアと麻薬使用がイコールか分からない。結局、分子標的薬が効いたのかな？
- ・色々考えさせられるお話しでありがとうございました。アンケートは家族がいる前提ですがいない場合はどのように回答すれば良いか？
- ・交感神経優位な日々を過ごしているので、時々リラックスして過ごすことが、がんにならない生活だと思った。小さな幸せを積み重ねていこうと思った。鎌田先生のお話をまた聞きたい。
- ・がんの闘病の在り方を学んである程度決めておいた方が良いと思う。
- ・なぜそんなにも積極的に生きられるのか、本を読んでよく勉強します。
- ・素晴らしいお話しでした。これからはあまり無理をせず楽しい生き方をしたいと思います。
- ・がんになって食事等色々聞けて良かった。庄内に陶板浴はありますか？
- ・コミュニケーションの大切さ
- ・ACP
- ・身近にがんになった人がいなかったし、テレビドラマで観て知ることがあったが、いろんな症例があると思います。そういうがんのいろいろな症例とか知れたらと思う。

- ・時間のズレが少し困った。話しが長いとは感じなかったが、予定より延びてしまうと最後までできず、残念な気持ちになる。
- ・刀根氏の本を読んで来ました。とてもよかったです。
- ・体験談が一番心にひびくと思います。いろいろなとらえ方、考え方、生き方を聞きたいです。
- ・現在二つのがん治療中。四六時中そのことが頭から離れない。話を聞いて少しは楽にはなった。もっともつと気楽に取り組めば……。楽しい事、好きな事をもっと沢山やれるようにしたい。
- ・このようなことがあった事を知らずにおりました。参加して本当によかったと思いました。また、いろいろな方に声かけして、参加させていただきたいと思いました。
- ・大家族の石田さんの講話(話を聞いてみたい講師)
- ・健康な時も、病気の時も「自分を愛して」「自分らしく」「幸せに」生きようと思いました。
- ・がんに対する知識ができてよかったと思います。
- ・自分も年を重ねるたびに、医療などの話を聞きたいと思います。ありがとうございました。
- ・くよくよしない、自分の好きな事、幸せだと思うことをやっていきたいと思います。
- ・家族を何人も見送ってきましたが、全て病院での別れでした。その度にスタッフの皆さんに大変お世話になったのですが、自分の大変さしか思い及ばなかったところもあり、年を経て、そう思えるようになりました。お話をうかがって当時のことを思い出しました。
- ・前向きになれる講演でした。ありがとうございました。5月に乳がん手術をした私にとって希望の光でした。乳がんをテーマにした講演があれば参加したいと思います。



ご協力ありがとうございました。
南庄内緩和ケア推進協議会